



2026年が始まりました。昨年は物価高騰に明け暮れた1年だったと言っても過言ではありません。また、ウクライナやガザの問題が解決されていない中、年明け早々にトランプ米大統領がベネズエラを攻撃し、大統領夫妻を拘束するという暴挙に出ました。国連憲章違反であることは明白であり、断じて許されません。一方で2024年に被団協がノーベル平和賞を受けたことで非核平和を願う声は確実に広がっていると言えます。“力による支配”ではなく、憲法を真ん中に据えた共同の力で、暮らし・経済・平和を守り発展させるため、みなさんとともにがんばります。今年もよろしくお願いします。

12月議会報告

12月議会は1日に開会され、市長から提案された議案すべてが全会一致または賛成多数で可決され、17日に閉会しました。日本共産党市議団は提案された28議案のうち5件に反対、これ以外の23件と5件の追加人事案件、請願「精神障害者の重度心身障害児者医療費助成制度の拡充を求める」には賛成しました。

反対した主な議案

学校教育職員の給与等に関する 特別措置に関する条例

この条例改正は「教職調整額」を6年かけて10%に引き上げること、新たな公務類型の規定、教頭・校長の加算額の改定と制定となっており、「教職調整額」の引き上げにはなっているものの、残業代の不支給を温存するものであると言わざるを得ません。新たな公務類型は学級担任の業務とそれ以外の公務を規定するものですが、学級担任以外は実質賃下げとなります。残業代ゼロ制度を続け、定額働かせ放題を固定化しようとする法に基づくもので、教育現場の深刻な状況の改善にはつながらないことから反対しました。

国民健康保険料、 後期高齢者医療保険料の負担増

国保、後期高齢者医療の両特別会計に計上されたSE委託料は来年度（2026年度）に創設される「子ども・子育て支援制度」に伴い、支援金を徴収するためシステム改修を行うものです。子ども・子

育て支援金の目的は「児童手当の拡充、妊婦のための支援給付、子ども誰でも通園制度」となっており、医療保険料に医療給付とは別の目的のものを上乗せ

することは、社会保険の原理に反します。そもそも加入者の所得が低く、医療が必要な人が多いという構造的な問題を抱える国保・後期高齢者医療へさらなる負担増につながる予算は認められません。

スクープで社会を動かす

しんぶん赤旗

日曜版

電子版

豊富なコンテンツを
月990円でお届けします！
レシピやエンタメ、
お役立ち情報いろいろ！

お申込み 詳しい情報
特設Webサイト



日本共産党
www.jcp.or.jp

Happy New Year
2026



森下さち子一般質問

今回は6月議会に続き、「住宅問題」を取り上げました。6月議会ではすべての住宅を公募すること、住宅第2課管轄の住宅にかかわる駐車場料金が自治会費として徴収されていることを是正するよう求めましたが、今回は公募と駐車場料金の是正についての進捗、過去にも取り上げた“エレベータ管理人報償金”の実態について質しました。

住宅第1課管轄の住宅は毎年6月と12月に公募して抽選で入居を決定しています。しかし、住宅第2課管轄の住宅は未だ”地域改善向け住宅“という位置づけのまま公募されておらず、どの住宅が空いているかも明らかにされていません。申し込みに行っても、特定の地域に住んでいたかどうかを調査され、入居の可否が決められています。住まいは権利であり、困窮している人すべてに保障するべきだと指摘しました。また、自治会費として徴収されている駐車場料金の是正、第2課の住宅にのみ支給されているエレベータ管理人報償金の廃止を求めました。市長は公募については「公募を含めた入居基準について検討を進め、早期に実施できるよう指示している」、駐車場料金については「徴収している20団地には中止を指導している。今は規定がないため策定する



12月議会で一般質問する森下さち子市議員

よう指示している」、エレベータ管理人報償金については「過去の議員の指摘を受け、縮減廃止に向け検討を進め段階的に引き下げている」と答えました。

長年にわたり取り上げてきた問題ですが、いまだ解決しておらず、市長の政治姿勢が問われる問題です。引き続き取り上げていきます。

森下事務所移転のお知らせ

このたび、森下さち子事務所が移転しました。

◇住所：和歌山市出水128-23（和歌山駅東口から東へ900m）

◇連絡先：435-1113（市議団）または432-6222（北部地区）

森下事務所地図

